

Wako Monthly

7

和歌山工業
高等学校
マンスリー・
タイムズ

★全国大会・近畿大会壮行式★

7月8日に、全国大会・近畿大会に出場する生徒の壮行式をグラウンドで行いました。

6月に開催された和歌山県高等学校総合体育大会で優秀な成績を収めた生徒の皆さんが7月・8月に開催される全国大会・近畿大会に出場します。和歌山工業高校の代表として精一杯頑張ってもらよう、学校全員で壮行式を行い、送り出しました。生徒会長からの激励の言葉を受け、体操部キャプテンの土木科3年小坂康裕さんが選手を代表して、インターハイに臨む決意を述べました。

★ぶんだら飛び入り連の木札デザイン決定!!★

8月6日に和歌山城周辺で行われる「第54回紀州おどりぶんだら節」に20人未満のグループや個人が参加できる「ぶんだら飛び入り連」というものがあり、毎年参加者には木札が配られています。その連を率いる県住みます芸人の「わんだーらんど」さんが7月8日に来校され、産業デザイン科3年の生徒36人のデザインから、今年渡す木札のデザイン3案を生徒と共に決定しました。今後は、本校のレーザー加工機を使って、それぞれデザインごとに70個、合計210個を製作します。



★園芸部が花を植えました★

本校光風寮の南西の角に当たる部分に、交通事故の危険性が高いため、ブロック塀の隅切りをした部分があります。

相互の歩道から見通しを良くしたのですが、その角に設けた花壇に、園芸部が花を植えました。

継続した花の管理も大変ですが、交通事故が減少することを願いつつ、地域の方に花を楽しんでもらえると嬉しいという思いを込めて、花を植えました。

夏には、きれいに花が咲きほこると思いますので、皆さん楽しみにしておいてください。



★1学期の終業式を行いました(7月20日)★

1学期の終業式を放送で行いました。

連日800人近くの県内新型コロナウイルス感染者が報道される状況下で、全員が体育館に集まる集合形式による感染リスクを考え、各教室で放送による終業式となりました。

松本校長からは、コロナ感染症、夏季休業の過ごし方、本校の新しい取組についての3つの内容による式辞がありました。

また、最後に「皆さん自身が和工生としてさらなる成長を遂げるために、次の一步をどう踏み出すか?」について夏休み中に各自でしっかりと考えてみてくださいという宿題が出されました。



★車いすを修理し、引き渡し式を行いました★

和歌山市社会福祉協議会から修理の依頼を受けていた6台の車いすの修理が終わり、ピカピカになった車いすを引き渡し式という形で返却しました。産業デザイン科2年生8人、3年生6人が関わり、これまでに学んだ工業の基礎知識を生かして、サビを落とし、塗装、パンク修理などの整備を行いました。和歌山市社会協議福祉会の白井光典事務局長様には、「廃棄ではなく、修理してもらうことでSDGsにも貢献し、ありがたい。福祉のために大切にに使わせていただきます。」とお言葉を頂きました。修理した6台の車いすは、小学生の車いす体験などに活用されるそうです。



★ジュニアマイスター(前期)に申請をしました★

公益社団法人全国工業高等学校長協会のジュニアマイスター顕彰制度は、工業高校の生徒が、資格・検定の合格を通して身につけた知識・技術・技能を積極的に評価しようというものです。取得した資格や競技会の成績などに点数をつけ、その合計点により表彰されます。

ジュニアマイスター顕彰に係わる区分表による得点が、合計20点以上であればジュニアマイスターブロンズ、30点以上であればジュニアマイスターシルバー、45点以上であればジュニアマイスターゴールドの称号が授与されます。令和4年度前期が7月29日で締め切れ、資格や検定に合格した生徒の中から、本校より以下の生徒の申請を行いました。

ジュニアマイスターゴールド	〔建築科3年〕	杉本愛花
同 シルバー	〔建築科3年〕	徳留悠真
同 ブロンズ	〔建築科3年〕	成田夕馬
	〔建築科2年〕	大島サムソンリー、浜田蒼汰
	〔機械科3年〕	谷口月輝、中井淳稀
	〔土木科3年〕	布施祐貴、野村陽香、石井冬羽
	〔産業デザイン科3年〕	石尾祐華、妙中波留香、池田 楓、藤原千咲、大橋亨太郎
	〔産業デザイン科2年〕	村田結香、谷本理恵、小松由愛、大西希来、樋口花星